



# 北島町地域包括支援センターだより

## なごみ

第11号

令和4年7月1日  
板野郡北島町中村字上地23-1  
TEL (088) 698-8951



# 北島町地域包括支援センターです



地域包括支援センターには、主任介護支援専門員、介護支援専門員、保健師、社会福祉士がおり、総合相談、権利擁護、介護予防、地域づくりに取り組んでいます。



北島町では、地域の中に健康や介護について相談できたり、学べたりする場所があります。

場 所	内 容	お問い合わせ
医療法人 修誠会 介護老人保健施設 けい あい いえ <b>敬愛の家</b>	介護教室、健康教室の開催(偶数月) *1 認知症サポーター養成講座 *1 介護相談	(088)698-7778
社会福祉法人 緑樹会 グループホーム い 癒 おん 音	認知症カフェの開催 *2 認知症サポーター養成講座 *2 季節行事へのご案内 *2 介護相談	(088)697-3788
社会福祉法人 友情会 グループホーム えんじゅ	認知症カフェの開催 *2 認知症サポーター養成講座 *2 季節行事へのご案内 *2 介護相談	(088)697-0757
社会福祉法人 樟風会 特別養護老人ホーム よしのがわそう <b>吉野川荘</b>	認知症カフェの開催(奇数月) *2 認知症サポーター養成講座 *2 介護相談	(088)698-3249
社会福祉法人 健祥会 地域密着型 特別養護老人ホーム けんしょうかい <b>健祥会ライデン</b>	認知症サポーター養成講座 出張講座 介護相談	(088)624-7701

\*1 感染症流行の状況を見て再開予定 \*2 感染症流行のため中止 詳しくは各事業所にお問い合わせ下さい

最近物忘れが  
心配になってきた

ひとり暮らしが  
不安

県外に住む  
両親が心配

最近、近所の人を  
見かけなくて心配

## まずは 地域包括支援センターへご相談ください

高齢者の皆さんはもちろん、そのご家族や高齢者の近所にお住まいの皆さんもご相談いただけます。些細なことでも構いませんので、困ったことや心配ごとは、まずは地域包括支援センターへご相談ください。

北島町役場 4階 地域包括支援センター Tel. 088-698-8951

開所時間 8:30~17:15 土日祝日休み

E-mail houkatsu@kitajima.i-tokushima.jp

## 北島町見守りシール交付事業

発見者がQRコードを読み取ると、ご家族にメールが送信されます

### 認知症の方やその家族が安心して暮らせる町づくりを目指して



このシールに気づいてください。あなたの支援を必要としている方です。



認知症等により、見守りが必要な方の衣服や持ち物などに貼る「見守りシール」を配布しています。

※登録が必要です。

#### シールを身につけた方を見かけたら

- ①ご本人の正面から優しく声をかける
- ②スマートフォンでQRコードを読み取る
- ③表示されたご本人情報を確認
- ④可能であれば伝言板に所在地などを入力

#### 【お問い合わせ】

社会福祉課 TEL 088-698-9802  
地域包括支援センター TEL 088-698-8951

※この対応を行うことで、電話番号やメールアドレスなど個人情報が漏れることはありません。

※必要に応じて、警察や消防(救急車要請)などへ通報してください。



今回お話を伺ったのは……  
左から  
久米さん、多田さん、天羽さん



紙飛行機作りの様子



親子で楽しむ紙飛行機大会

会長の多田さんは、「最初は私に出来るかしら？」と不安な気持ちだったと話してくれた。町外から転居してきたばかりで、他の町民の方とのふれあいもなく、出掛ける所と言えば買い物くらいだった。当初は不安な気持ちからスタートした多田さんだったが、今では「わっしょい広場に思いのほかハマっている。人と繋がるのがこんなに楽しいと思わなかった！」と澆刺とした笑顔を見せてくれた。

主に写真を撮影したり、活動記録の作成等を担当している久米さんは「お母さんが集まり、子どものことを気にせず話しができたり、ゆつたりと過ごせる場になればいいなと思っている。例えば、子育ての相談や子どもが着なくなった服の交換等、そういった情報交換が気軽にできる場になりたい。」と優しい表情で話す。

「子どもの頃、地域で福引きがあり、母親から福引きの券をもらってクジを引きに行った。クジでも嬉しかった。」と語る天羽さん。なぜお菓子やジュース等ではなくビール瓶が嬉しかったのか？



参加者で記念撮影

「人とおふれあうことがこんなに楽しいと思わなかった」

わっしょい広場が設立されたのは、2020年7月。毎月1回、月の最終月曜日に開催されている。場所は、東高房老人憩いの家。八坂神社の境内には季節の花が色とりどり植えられている。1才〜就学前の親子や祖父母を対象としており、3世代のふれあい憩いの場を提供している。活動内容は、季節や行事に合わせた簡単なおもちゃ作りや遊び、子育ての情報交換を行っている。

今回、お話を伺ったのは、会長の多田美佐子さん、天羽修さん、久米利國さん。

久米さんの「みんなが気軽に集える100円カフェのような場所があったらええなあ」という声と、天羽さんの「世代を超えて集まれるような居場所を作らなアカンなあ」という思いが、今のわっしょい広場の形になった。その思いがリレーのバトンのように少しずつ友人から友人へと伝わっていき、現在ではスタッフが8名となっている。

老人憩いの場を提供している管理者の久米さん、わっしょい広場のスタッフや町民の方など……。たくさんの方との出会いによって支えられていると話してくれた。

また、大きな支えの一つとして、一般財団法人チャイルドライフサポートとくしまの「子どもの笑顔はぐくみプログラム」の助成制度について話してくださいました。子どもの笑顔はぐくみプログラムで活動資金の補助を受けていることも大きな助けになっていると話す。

こうした様々な出会いによって、わっしょい広場は誕生し、支えられ続けている。

#9

きたじまささえあい大図鑑  
東高房  
わっしょい広場

きたじまささえあい大図鑑

「それは子どもは親の喜ぶ顔が見たいから。親の喜ぶ姿を見ることが、子どもにとって一番嬉しいことだ。」と天羽さんは話してくれた。

その想いをヒントに、わっしょい広場ではゲームの景品が、野菜や調味料、インスタントラーメン等、親子で楽しめるものに工夫されている。その景品をもらい、親子のニコニコとした表情を見ることが、さらにやりがいを感じていると話す。

多田さん、天羽さん、久米さんから教わったことは「人と人の繋がり大切さ。」

ボランティアをしているというより、ボランティアを『させて』頂いているという気持ちで取り組んでいると天羽さん。一人の力では達成できないことも、数人が集まれば大きな力になる。そんな思いが世代を超えてリレーのように伝わっていかばいいと話す。

これからは「一歩を踏み出せずにいるお母さん達にもぜひ集まってきてもらいたい」と力強いメッセージを頂いた。

コロナ禍で人間関係の希薄化が危惧されている中、わっしょい広場では人と人の繋がりを大切に、それが力の源となっている。たくさんの方の思いで紡がれたバトンを大切にしていきたいと思う。



優勝者にはトロフィーの贈呈



地域でささえあい活動をしている方、ぜひご連絡ください！

ささえあい活動や、集いの場、趣味の集まりなど、地域で活動されている方を募集中！  
また興味はあるけどまだ出来ない・・・という方も是非一度ご連絡ください。

問い合わせ先 北島町地域包括支援センター TEL: (088)698-8951  
〒771-0203 徳島県板野郡北島町中村字上地 23-1(北島町総合庁舎 4F)

東高房わっしょい広場 **参加費 無料**

[日 時] 毎月1回 最終月曜日  
10:00~12:00

[場 所] 東高房老人憩いの家

[問合せ] TEL 080-8634-2931

参加希望の方はご連絡ください！



紙飛行機大会の会場設営にもちょっとした工夫が